

令和8年(2026年)9月 30 日

保護者の皆様

札幌市立丘珠小学校
校長 鈴木 重人

令和 8 年度 全国学力・学習状況調査の本校の結果について

清秋の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また日頃より丘珠小学校の教育活動に対しましてご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本年 4 月 23 日(木)に全国の小学 6 年生と中学 3 年生を対象にした「全国学力・学習状況調査」が行われました。「教科に関する調査結果」と「児童生徒質問紙調査結果」について、本校の 6 年生の状況をお知らせいたします。

今回の結果を分析・検証し、今後の学習・生活指導に生かしてまいります。なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることに十分ご注意ください。保護者の皆様におかれましても、お子さんのこれからの学習や生活の充実のための参考にしていただきたくお願い申し上げます。

【国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【話すこと・聞くこと】 全国平均を下回っている。	▲資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。	○話合いや発表の目的・相手を意識し、資料から必要な情報を選択・整理するとともに、それを根拠として自分の考えを分かりやすく伝えるための表現力を育成する学習活動の充実。
【書くこと】 全国平均を下回っている。	▲目的や意図に応じて、自分の考えが伝わりやすいように書くこと。 また、書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えること。	○書く目的や相手を意識し、伝えたい内容の中心を明確にするとともに、理由や根拠を適切に示しながら、文章全体の構成を工夫して書く学習活動の充実。
【読むこと】 全国平均を下回っている。	▲目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けること。	○読む目的を明確にし、文章と図表などを結び付けて必要な情報を選択・整理するとともに、それらを基に内容を的確に理解する学習活動の充実。
【言葉の特徴や使い方に関する事項】 全国平均を下回っている。	▲学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。 ▲比喻や反復など、表現の効果について気付くこと。	○学年別漢字配当表に示されている漢字について、日常的に読み書きする機会を意図的に設定し、文の中で正しく使う力の定着を図る学習活動の充実。 ○教材文に用いられている比喻や反復などの表現を取り上げ、その効果を考えたり、自分の表現に取り入れたりする学習活動の充実。

【情報の扱い方に関する事項】 全校平均を下回っている。	▲情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。	○情報を比較・分類・関連付ける場面を日常的に取り入れ、図や表、思考ツールなどを活用して情報相互の関係を視覚的に整理・表現する学習活動の充実。
--------------------------------	--	--

【算数】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【数と計算】 全国平均を下回っている。	▲異分母の分数の計算ができた り、小数同士の計算においては もとにする数を考えたりできる。 ▲四捨五入して、概数にすることが できる。	○異分母の分数や小数の計算について、計 算の仕方や意味を理解し、繰り返し活用 する学習を通して基礎的な計算技能の 定着を図る。 ○概数の意味や四捨五入の仕方を具体的 な場面と関連付けて理解し、目的に応じ て適切に概数を用いる学習活動の充実。
【図形】 全国平均を下回っている。	▲五角形の面積の求めかたにつ いて、必要な長さを調べて式や 言葉で表現する。	○図形を既習の図形に分けたり補ったりし て考える活動を取り入れ、面積を求める ために必要な長さに着目し、式や言葉 を用いて求め方を説明する学習活動の充 実。
【測定】 全国平均を下回っている。	▲はかりの目盛りを読むこと。	○測定器を用いた実測活動を継続的に取 り入れ、目盛りの読み方や単位の理解を 確実にするとともに、測定した結果を適切 に読み取り、活用する学習活動の充実。
【変化と関係】 全国平均を下回っている。	▲伴って変わる二つの数量の関 係に着目し、問題を解決するた めに必要な数量を見出し、知り たい数量の大きさの求め方を式 や言葉を用いて記述すること。	○伴って変わる二つの数量の関係を、表 や図、式を関連付けて考える活動を充 実させ、必要な数量を適切に見いだす とともに、求め方や考え方を式や言葉 で説明する力の育成を図る。
【データの活用】 全国平均を下回っている。	▲目的に応じて適切なグラフを選 択し、出荷量の増減を判断し、そ の理由を言葉や数を用いて記述 すること。	○身近なデータを表やグラフに整理し、目 的に応じて適切なグラフを選択すると ともに、データの変化や特徴を読み取 り、その理由や考えを言葉や数を用い て説明する学習活動の充実。

【児童質問紙調査結果について】



- ◇「学校は楽しい」「友達との関係に満足している」「先生に認められている」といった項目では肯定的な回答の割合が高く、児童は安心して学校生活を送り、周囲との関わりの中で成長している様子が見られた。
- ◇「人の役に立つ人間になりたい」「困っている人を助けたい」「いじめはどんな理由があってもいけない」「将来の夢や目標をもっている」「自分にはよいところがある」といった項目では、肯定的な回答の割合が高く、相手を思いやる心や社会に貢献しようとする意識、自己肯定感の高さが本校児童の大きなよさとして見られた。



- ◆「スマートフォンやゲームなどをする時間はどのくらいですか。」の項目では、4時間以上使用している児童が55%となり、全国平均を大きく上回っている。家庭での時間の使い方を見直し、学習や読書など、自分の力を伸ばす時間を確保することが課題である。
- ◆「学校の授業時間以外に、普段一日当たりどれくらいの時間勉強しますか。」の項目では、1時間未満の児童が80.6%を占めており、家庭で計画的に学習する習慣の定着が課題である。

「全国学力学習状況調査」は、6年生が対象の調査ですが、上記の分析結果から見えてきた問題点を全校的な課題として捉え、改善に取り組んでいきます。

特に、学習習慣や生活習慣の改善については、学校だけでなく、ご家庭との連携が大切です。ご家庭でも、以下の点についてお子さんと一緒に振り返る機会を設けていただければと思います。

○ ゲームやスマートフォン等の使用時間について

- ・使用する時間帯や時間の長さについて、ご家庭でルールを決める。
- ・就寝前の使用を控え、十分な睡眠時間を確保する。
- ・ゲームや動画を見る時間と、学習・読書・家族との会話の時間とのバランスを考える。

○ 家庭学習の習慣づくりについて

- ・毎日決まった時間に机に向かう習慣をつくる。
- ・宿題だけでなく、音読、漢字練習、計算練習、読書など、基礎的な力を身に付ける学習にも取り組む。
- ・「何を学習したか」「分からないところはないか」を振り返る時間を大切にする。

○ お子さんへの声かけについて

- ・できたことや努力したことを認め、学習への意欲につながる声かけをする。
- ・「なぜそう考えたのか」「どのように解決したのか」など、考えを言葉にする機会を増やす。
- ・将来の夢や目標について話す時間をつくり、学ぶ目的を意識できるようにする。

児童一人一人が、自分のよさを伸ばしながら、主体的に学ぶ力を身に付けられるよう、学校と家庭が協力して取り組んでいきたいと考えています。ご理解とご協力をお願いいたします。